

人 / 社会と共生する未来のモビリティ



2026年度 名古屋大学協力会 講演会

参加費無料
事前登録制



▲ 視線によるナッジ効果を搭載した パーソナルモビリティ
※ナッジ (nudge) とは、
「人の行動をそっと後押しする」の意味

2026年

7月29日(水)

15:00~17:00

※講演会の前に 総会を開催しているため、
入場をお待ちいただく可能性があります。

会場：ES総合館 ESホール



《アクセスマップ》
名古屋市営地下鉄名城線
「名古屋大学」下車、
2番出口をご利用ください

特別講演①

「思いやりのあるパーソナルモビリティへの挑戦
～新たな人・機械インタラクションの創出～」

名古屋大学大学院

工学研究科

機械システム工学専攻

教授

鈴木 達也



「歩車共生の空間に溶け込む、思いやりの感じられるモビリティ」はどうかあるべきでしょうか。名古屋大学とトヨタ自動車はこの学術的問いに対し、6年間にわたる指定共同研究プロジェクトを実施しました。本講演ではその成果を紹介し、より広い意味で人とのインタラクションを伴う多様なパーソナルモビリティの在り方、今後進むべき方向について意見交換をしたいと思います。

特別講演②

「暮らしに溶け込むモビリティの未来」

トヨタ自動車株式会社

先進モビリティシステム開発部

システム&サービス基盤開発室

室長

福留 秀樹



クルマに代表されるモビリティは、もはや単なる「移動手段」ととどまらず、人々の暮らしを支えるインフラへと進化しつつあります。本講演では、公共交通・マイクロモビリティ・自律走行など多様な移動手段が有機的につながる未来のモビリティ開発を紹介します。高齢化・地方過疎化・人手不足といった社会課題に応えながら、暮らしに寄り添うモビリティ社会の実現に向けて、共に考えたいと思います。

【主催】名古屋大学協力会、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

【後援】名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 (GREMO)
岐阜大学協力会

【定員】100名

【申込締切】2026年7月15日(水)

【一般用申込フォーム】<https://forms.office.com/r/rv3qYQ7js7>



←お申込みは、こちらから
(一般用フォーム)

【問合せ先】名古屋大学協力会

E-mail: kyouryokukai@t.mail.nagoya-u.ac.jp